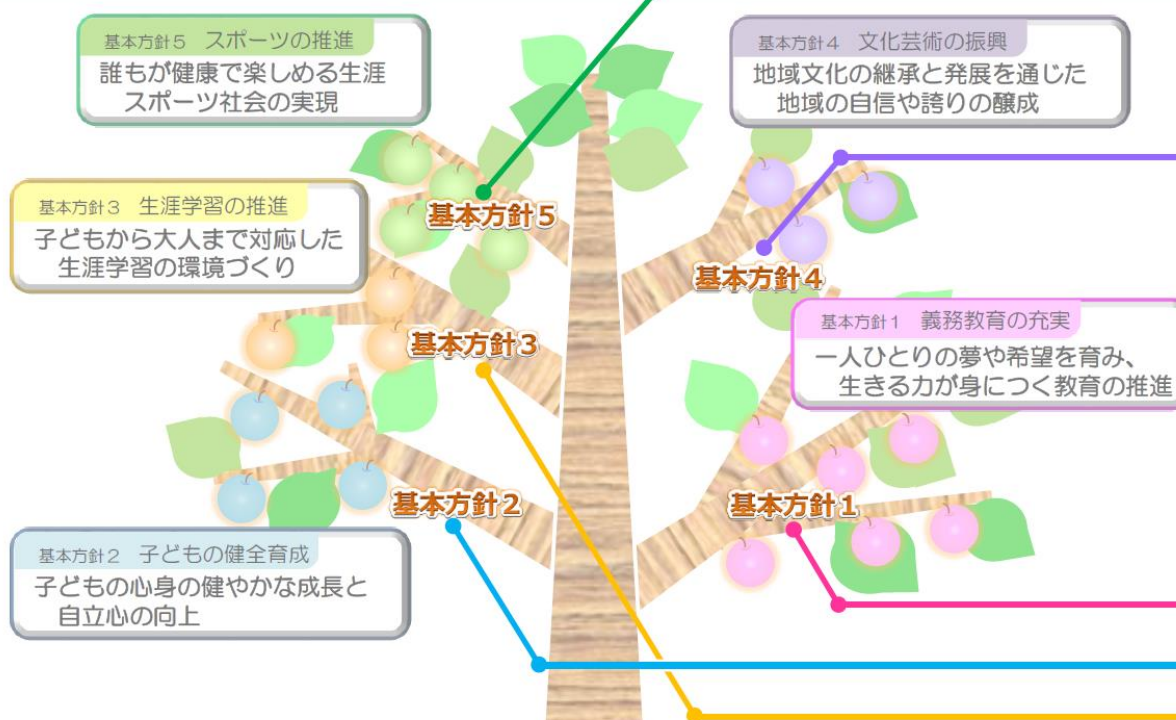


龍ヶ崎市教育大綱と龍ヶ崎市教育振興基本計画で構成される「龍ヶ崎市教育プラン」の体系図は、以下のとおりです。

教育大綱は、龍ヶ崎市の教育分野の基本方針です

教育振興基本計画は、教育大綱の基本理念の実現に向け、20の具体的施策を定めています

龍ヶ崎市教育大綱



基本理念
ふるさと龍ヶ崎の 現在を担い、未来を拓く 人づくり

- 基本目標**
- 学校、家庭、地域との連携により、「龍の子」の生きる力を育みます
 - 時代に対応した教育施策を展開し、教育環境の充実を図ります
 - 地域の歴史や伝統文化と触れ合い、生涯にわたる学びを育みます
 - スポーツを通じて、子どもから大人まで幅広い世代の健全な心身を育みます

具体的施策

- 基本方針1 義務教育の充実**
 - 1 知・徳・体のバランスのとれた教育を推進します
 - 2 自主性や社会性を育む教育環境を整備します
 - 3 地域の特性を活かした魅力ある学校づくりを推進します
 - 4 一人ひとりの心に寄り添う教育を推進します
 - 5 安全・安心で信頼される学校づくりを推進します
 - 6 学びを支える教育環境を整備します
- 基本方針2 子どもの健全育成**
 - 1 家庭の教育力の向上を図ります
 - 2 幼児教育の充実を図ります
 - 3 子どもが健全に育つ環境を整備します
 - 4 子ども達の交流を促進します
- 基本方針3 生涯学習の推進**
 - 1 学びを深める環境の充実を図ります
 - 2 多様な学習機会の充実を図ります
 - 3 人権教育・啓発を推進します
- 基本方針4 文化芸術の振興**
 - 1 文化芸術に親しむ機会の充実を図ります
 - 2 多様な文化財の保存と活用を推進します
 - 3 郷土学習を推進します
- 基本方針5 スポーツの推進**
 - 1 流通経済大学と連携したスポーツ施策を推進します
 - 2 スポーツを支える環境を整備します
 - 3 身近でスポーツに親しむ機会の充実を図ります
 - 4 競技力の向上を図ります

基本方針の成果指標 (第1層の成果指標)です

基本方針1 義務教育の充実

- 将来の夢や目標を持っていると答えた児童生徒の割合
児童 84.6% (2015) → 90% (2021)
生徒 68.4% (2015) → 75% (2021)
- 学校が楽しいと肯定的に答えた児童生徒の割合
児童 86.8% (2015) → 90% (2021)
生徒 87.6% (2015) → 90% (2021)
- 小中学校の教育内容・施設に満足している市民の割合 (18歳~50歳)
41.4% (2016) → 46% (2021)

基本方針2 子どもの健全育成

- 若者が健全に育つ環境に満足している市民の割合
27.5% (2016) → 33% (2021)
- 小学校入学前の子どもの教育内容・施設に満足している市民の割合 (18歳~50歳)
38.7% (2016) → 44% (2021)

基本方針3 生涯学習の推進

- 生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所に満足している市民の割合
29.7% (2016) → 35% (2021)

基本方針4 文化芸術の振興

- 芸術や文化に触れ親しむ機会・施設に満足している市民の割合
30.6% (2016) → 36% (2021)
- 市のよいところ、好きなところとして「歴史と伝統がある」と回答した市民の割合
11.5% (2016) → 17% (2021)

基本方針5 スポーツの推進

- 体を動かし、スポーツやレクリエーションに親しむ機会・施設に満足している市民の割合
49.9% (2016) → 55% (2021)
- 週1回以上運動やスポーツを行っている市民の割合 (16歳以上)
43.2% (2012) → 65% (2021)

新しい学校づくりに関する基本方針（イメージ）

目指す子ども像：「夢」を持ち「生きる力」を自らはぐくむ龍の子



リレーションシップ＝つながり
(Relationship)

- 子どもたちのつながり
- 学校と家庭とのつながり
- 学校と地域とのつながり



ステップ・アップ
(Step Up)

- 学力のステップ・アップ
- 心と体のステップ・アップ

龍の子人づくり学習

(龍ヶ崎版小中一貫教育)

- 子どもたちの社会参画力の育成

確かな学力

豊かな心

健康な体

- 教育の質の向上
- 学校と地域社会の連携・協働の推進

地域との連携

- 地域交流、地域人材・資源を活用したキャリア教育や体験学習
- 子どもたちの地域への参加
- 家庭による教育への参加
- コミュニティ・スクール設置に向けた調査研究

環境整備

- 施設一体型小中一貫校の設置を目指す
- 小中一貫教育に向けた新しい学区編成の検討
- 教職員の増員及び教員の資質・能力の向上

龍の子人づくり学習カリキュラム

- 小中のリレーションを考慮した、主体的・対話的で深い学びを実現する指導計画と授業改善
- キャリア教育、シティズンシップ教育の推進
- 地域との連携、地域への貢献、地域学習教材の開発

学習カリキュラムの4・3・2制への移行

中学校区ごとに

龍の子人づくり学習カリキュラムを作成

2020年4月から 龍ヶ崎市で小中一貫教育が始まります

義務教育9年間を見通し、一人一人の夢や希望を育み、生きる力が身につく教育を推進します

目指す子ども像

『夢』をもち『生きる力』を自ら育む龍の子

系統性・連続性を踏まえた学習指導をしていきます。

生きる力を育むための「人づくり」に向けた学習に取り組んでいきます。

一貫した生徒指導や生活指導に取り組んでいきます。

- 龍ヶ崎市では、小学校と中学校が別の校舎で学習する施設分離型で小中一貫教育を行います。
- 従来通りの小学校6年間、中学校3年間の義務教育9年間は変更ありません。

小学校から中学校へスムーズな接続を可能にし「中1ギャップ」をなくしていきます。



龍ヶ崎市の「現在（いま）を担う」「未来（あす）を拓く」ための人づくりに向けた「龍の子人づくり学習」に取り組んでいきます

龍の子人づくり学習

夢を育てる「ゆめ学習」
～自分らしく生きるために～

- 体験的な学習を充実させます
- 地域の教材を活用していきます
- 職業や進路などの「生き方」に関する学習を充実させます



未来を創る「みらい学習」
～よりよい社会の実現のために～

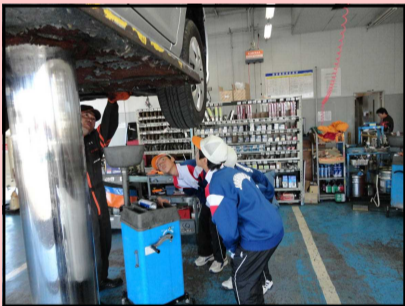
- よりよい市民として必要な意識や知識、リーダーシップやコミュニケーション等のスキルを身に付けさせます
- 話し合い活動（学級会）を充実させます
- 児童会・生徒会活動を充実させます



【各中学校の代表による話し合い】

龍の子人づくり学習の具体的な取組

I 子どもたちの社会参画力の育成



【職場体験】



【龍の子フォーラム】

9年間を見通したキャリア教育（※1）、シティズンシップ教育（※2）を推進していきます。

【具体的な取組】

- 体験活動の充実
（生活科や社会科における校外学習、各校の特色ある取組）
- これからの生き方を考える学習
（職場見学、職場体験、講演会）
- 道徳科を中心にした心の教育の充実
- 郷土に関する学習の充実

龍の子人づくり学習ノート



左のような、自分の成長を記録していく「龍の子人づくり学習ノート」を使います。

家庭と学校が協力してお子様を見守るためのノートです。

9年間の積み重ねで完成させていきます。

保護者からのコメント欄がありますので、学校からノートが配付されましたら記入して学校に返却してください。

II 学校と地域社会の連携・協働の推進



【地域との交流（球根植え）】



【地域の観察や調査】

地域社会との連携、地域社会への貢献、地域学習教材の開発を進めていきます。

【具体的な取組】

- ボランティアなどの体験学習
- 身近な地域の観察や調査
- ゲストティーチャーの活用
- 地域行事への参加
- 地域への情報発信

III 教育の質の向上



【ICT機器を活用した授業】



【グループ学習】

小中学校のつながりを意識しながら、主体的・対話的で深い学びを実現していきます。

【具体的な取組】

- 対話や交流のあるグループ学習
- 疑問に思ったことを解決していく学習
- ICT機器を有効に活用した学習
- 教科担任制や少人数学習を生かした授業
- 特別支援教育の充実
- 家庭学習の充実

※1：キャリア教育

学ぶことや働くことの尊さを実感し、職業的・社会的な自立を促す教育

※2：シティズンシップ教育

市民として、よりよい社会を実現させるために必要な能力を養う教育